

無駄を省くテクノロジーの活用で、 企業価値を高め、創造する。

私たちの身の回りには無駄なことがたくさんあります。

それは、ITのデバイスにも言えることかもしれません。

古いものが捨てられ、新しいものへと転用が展開されていく。

ITの進化とは、そんな古くなったデバイスの無駄を省くことで、

進化を続けて来たのかもしれない。

リーンテックはITコンサルティングのプロフェッショナルとして、

そうした無駄を省き改善することをご提案し、ユーザー様の不満を解消、

企業の価値を高め、新たな価値を創造していきます。

業 務 内 容

PKI関連技術を活用したソフトウェアの企画・開発及び販売

電子署名およびタイムスタンプを組み合わせたシステム開発。
電子契約システムやe-文書法対応などのアプリケーション開発。

情報セキュリティコンサルティング事業

情報セキュリティポリシーの策定およびポリシーに準拠したシステム設計、開発。

クラウド・サービスの企画・構築及び運用支援

Amazon EC2 およびS3のシステム構築支援。
その他クラウドサービス・システムの構築支援。

Webサイトの企画・デザイン・構築

お名前ドットコムを利用したドメイン名の取得代行、Webサイトの構築支援。

コンピュータ・ソフトウェアの企画・開発及び販売

コンピュータ・ソフトウェアの機能設計および開発支援。

コンピュータ関連機器の販売

Windowsクライアント、Linuxサーバ機器、VPN装置等の販売。

- 株式会社 リーンテック 代表取締役

上畑 正和 Masakazu Uehata

■専門分野

- PKI関連ソフトウェア開発、電子署名、タイムスタンプ応用システム ●情報セキュリティシステム、設計、ポリシー策定
- ネットワーク・インフラ設計、通信機器システム開発 ●クラウドサービス、システム構築、サービス設計

■プロフィール

- 1988～2000年

某・大手販売会社のSEグループにて、通信および情報セキュリティコンサル担当、同系列子会社にて、データベース・ソフトウェア開発及びネットワーク技術担当。ネットワーク黎明期におけるNetWareシステム及びNotesシステムの普及、販売に貢献。

- 2000～2013年

- ・某大手電子機器メーカーにて、タイムスタンプ事業を立ち上げ、サービスシステムの構築およびソフトウェア開発を担当。
- ・2005年からは、e-文書法におけるタイムスタンプサービスの法的根拠性の追求と普及活動に傾注。
- ・時刻配信業務のJIS規格策定委員活動において、2008年5月にJIS規格JIS X 5094 (UTCトレーサビリティ保証のためのタイムアセスメント機関 (TAA) の技術要件) の制定を達成。

- 2011～2015年

JIS規格制定後、同規格のISO化を目指したISO/IEC 18014-4: Time-stamping services -- Part 4: Traceability of time sourcesのISO国際規格策定委員エディタを担当。2015年4月にISOの出版を達成。

- 2015年

ソフトウェア開発及び情報セキュリティ関連のコンサルティング業務を主体とした株式会社 リーンテックを設立。現在に至る。

- 資格取得 NetWare CNE/J



■書籍執筆

